

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	芸術		
教科	美術1	単位数 単位	学年・コース・組
使用教科書	美術1(光村図書出版)		
副教材等	ターナーアクリルガッシュ、ナイロン筆3本組、サクラ透明水彩、トリオ筆洗、ペーパーパレット、水彩用プラパレット 三菱ユニ鉛筆B、4B、クロッキーブックB4、スケッチブックF6、金屏風		

1.学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
 ②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
 ③楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2.学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	オリエンテーション レタリングと平面構成		10月	ミニ金屏風 清水公園写生会 美術校外学習	写生会作品 校外学習ワークシート 感想文
5月	レタリングと平面構成		11月	ミニ金屏風	
6月	レタリングと平面構成		12月	ミニ金屏風	ミニ金屏風作品 ワークシート 感想文
7月	レタリングと平面構成	レタリング作品 ワークシート 感想文	1月	友達の顔	
8月	夏をテーマに自由画	夏休み作品	2月	友達の顔	
9月	ミニ金屏風		3月	友達の顔	友達の顔作品 ワークシート 感想文

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3.評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

- ①画面の構成力や技法等、作品を作る上での基本的な知識をもとに評価。
 ②表現の意図と工夫、作品を作る上での表現方法をもとに評価。
 ③普段の授業態度や、感想文での内容をもとに評価。

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

芸術科

教科	中学音楽	単位数	1単位	学科・学年・コース・組	1学年 A組・B組
使用教科書	中学生の音楽1、中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材等					

1 学習の目標・内容・特色（目標を実現するための重要点を含む。）

表現（歌唱・器楽）及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	1. 歌唱 校歌指導 「エーデルワイス」		10月	「赤とんぼ」(山田耕筰)等	
5月	「浜辺の歌」(成田為三)		11月	合唱コンクールの練習	合唱に対する取り組み
6月	2. 器楽(ウクレレ) 基礎的な知識と初歩的な演奏法		12月	3. 鑑賞 「春」(ヴィヴァルディ) 「アジアの諸民族の音楽」	第2学期 期末考査
7月	「ちょうちょ」 「チューリップ」 「タフアファイ」等		1月	4. 日本の民謡 全国の民謡等	
8月	3. 鑑賞 「魔王」(シューベルト)	第1学期 期末考査	2月	5. 器楽(ウクレレ) 「オーラリー」等	
9月	4. 楽典「音楽記号」 1. 歌唱 合唱コンクールの練習 「朝の風に」		3月	6. 鑑賞 箏曲「六段の調」 尺八曲「巢鶴鈴慕」 「日本の民謡」	第3学期 期末考査

※ 高校3年生は第4回定期考査まで受験

3 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の観点から行います。

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ① 期末考査 楽曲の生まれた背景や詩の内容、作詞・作曲者、器楽、楽典についての知識・理解を問う問題を出題する。
- ② 実技テスト 大きな声で堂々と歌えているか等を評価する。基本的な奏法を身につけているか等を評価する。
- ③ 授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができているか等を評価する。

1年間の評定は、一学期・二学期・三学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。